

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	甲状腺癌をはじめとする内分泌腫瘍を対象とした遺伝子パネル検査に関する研究
	研究目的	甲状腺癌は、乳頭癌で BRAF 変異、濾胞癌で RAS 変異、未分化癌では TERT や TP53 の変異が多く検出され、遺伝子変異に特徴があることが知られている。RET 融合遺伝子や NTRK 融合遺伝子といった治療薬の標的遺伝子も検出されることがあり、今後は遺伝子解析による個別化医療が期待される。一方で、甲状腺癌の多くは進行が緩徐であり薬物療法が必要となることが少なく、進行甲状腺癌での変異頻度についてはあまりわかっていない。また、副甲状腺癌などの内分泌腫瘍は罹患率が極めて低い希少癌であり、まとまったデータに乏しい。そこで、実臨床で行われた遺伝子パネル検査の結果を用いて臨床的特徴を検討する。
	研究対象者	2018 年 1 月から 2027 年 3 月までに当センター乳腺内分泌外科にて遺伝子パネル検査を実施した患者さん。
	研究期間	西暦 2022 年 6 月 27 日～西暦 2027 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター研究責任者	臨床研究所 戸田宗治
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	内分泌外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター 内分泌外科 益戸功彦 TEL 045-520-2222